

Ⅱ 住民アンケート調査結果の 利用需要に係る分析

Ⅱ-1 利用需要に係る分析視点

(1) 利用意向がある住民の特徴

超小型モビリティによるカーシェアリングの利用意向を持つ住民について、その属性や行動等とクロス集計を行い、特徴を把握する。

(※利用金額を提示していない状況での利用意向)

(2) 地区別の需要傾向

西風新都エリアにおいて、特徴的な地区を選定し、地域特性と利用需要との関係等について分析し、傾向を把握する。

○調查目的：

西風新都における住民の交通行動や
交通に関する問題意識、超小型モビリティ
の潜在需要等の把握

○調查對象：3,000世帶

西風新都エリア居住者

- ・ 自動車運転免許の保有者が回答
(外出できない方は対象外)

○回收結果：

回收世帯数 1, 2 7 3 世帯(回収率42.4%)

- ・世帯票有効サンプル数 1,206件
- ・個人票有効サンプル数 2,228件

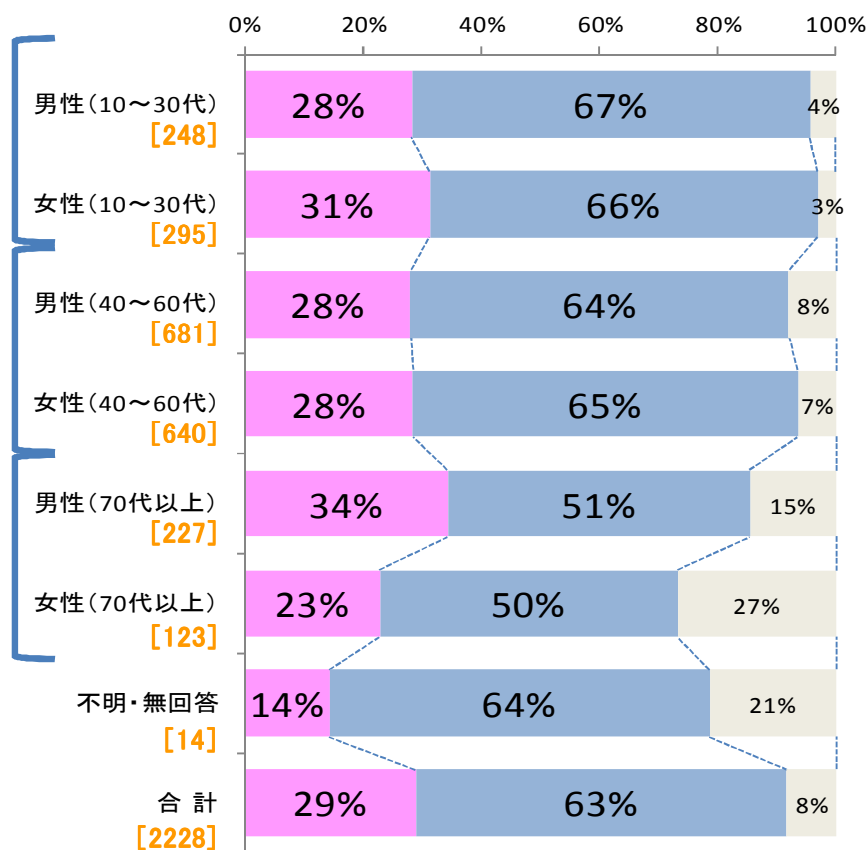
超小型モビリティ紹介チラシ

Ⅱ-3 調査結果の分析

(1) 利用意向がある住民の特徴

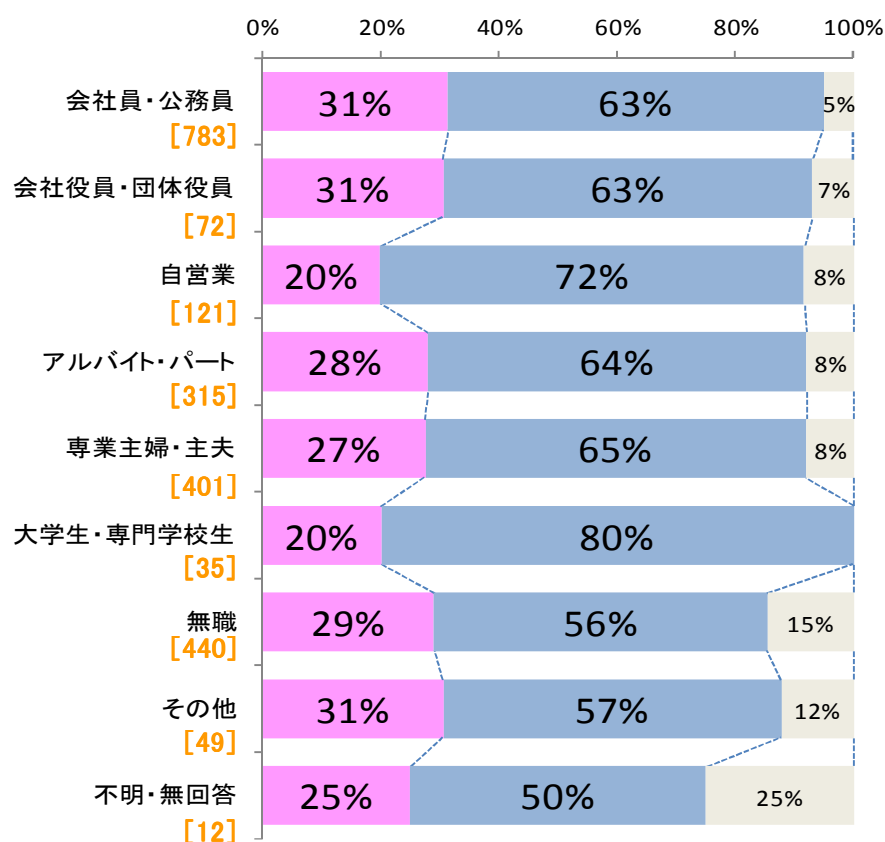
■ 利用すると思う
■ 利用しないと思う
■ 不明・無回答

① 年齢別・男女別の比較



※[]は性別・年齢別サンプル数

② 職業別の比較



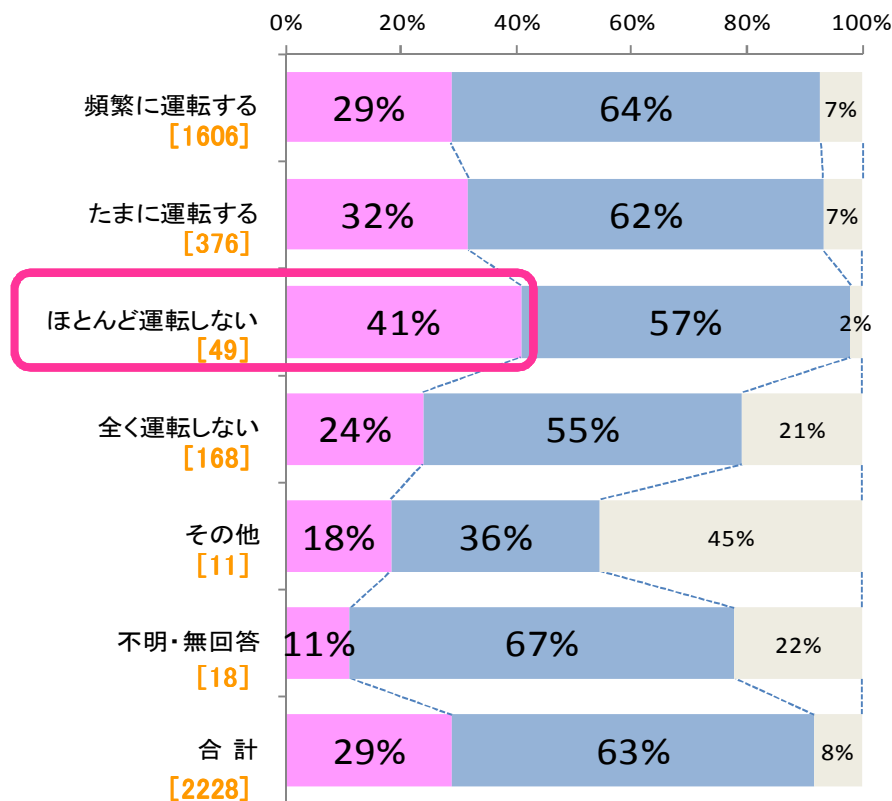
※[]は職業別サンプル数

(1) 利用意向がある住民の特徴



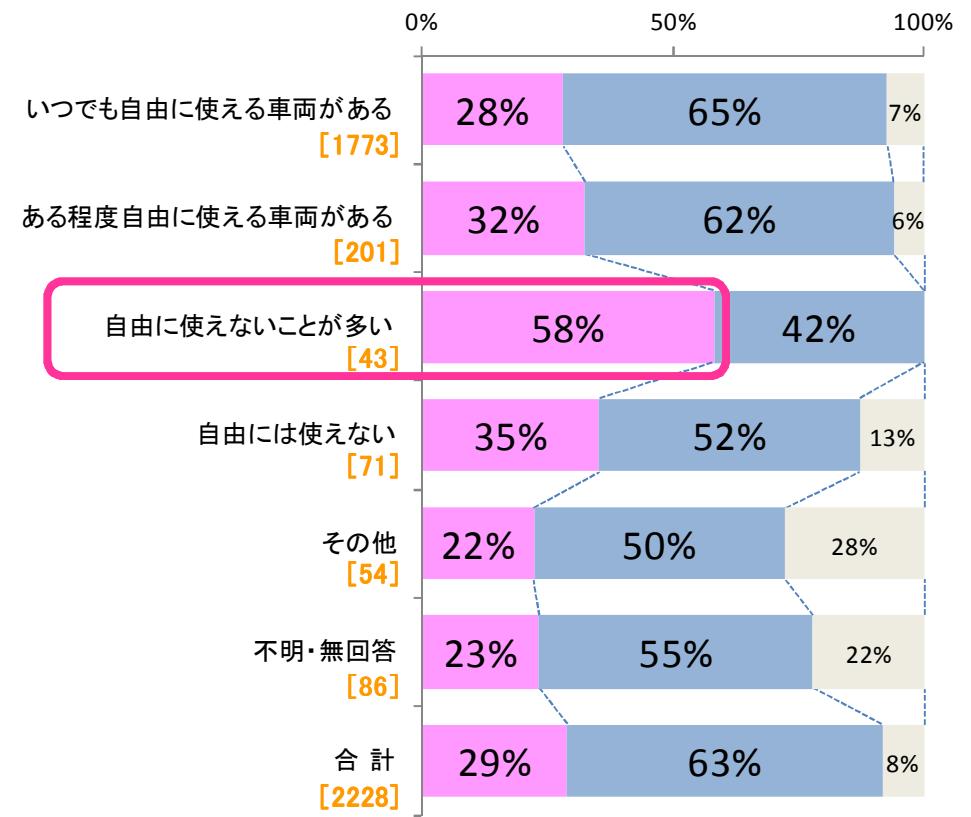
- 利用すると思う
- 利用しないと思う
- 不明・無回答

③ 運転頻度別の比較



※[]は運動頻度別サンプル数

④ 車両保有状況別の比較

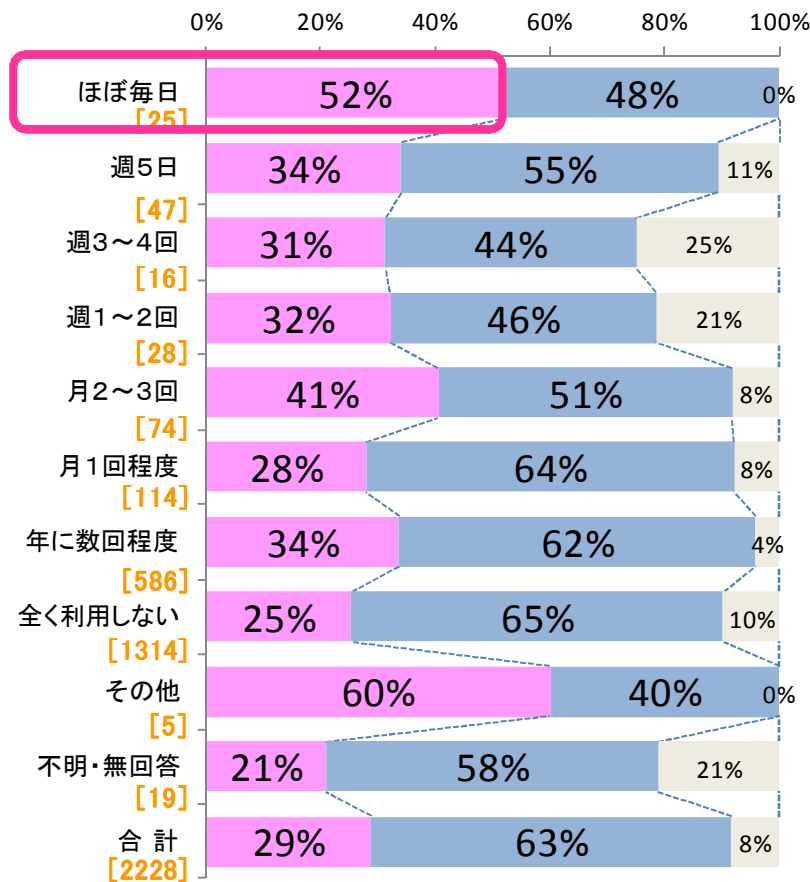


※[]は車両保有状況別サンプル数

(1) 利用意向がある住民の特徴

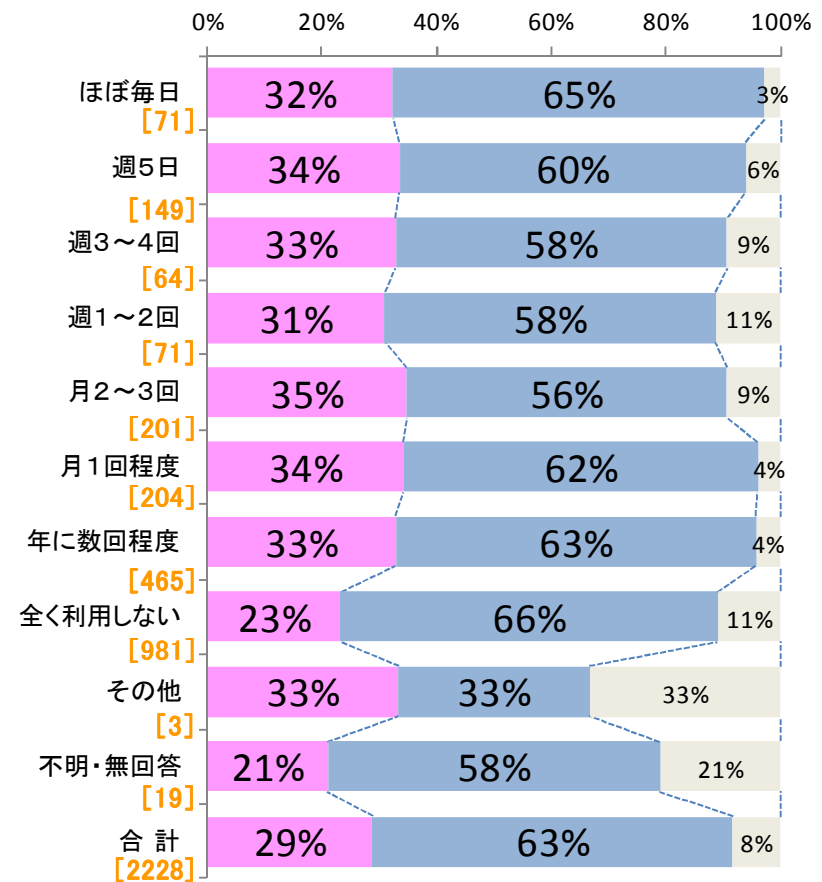
■ 利用すると思う
■ 利用しないと思う
■ 不明・無回答

⑤ AL利用頻度別の比較



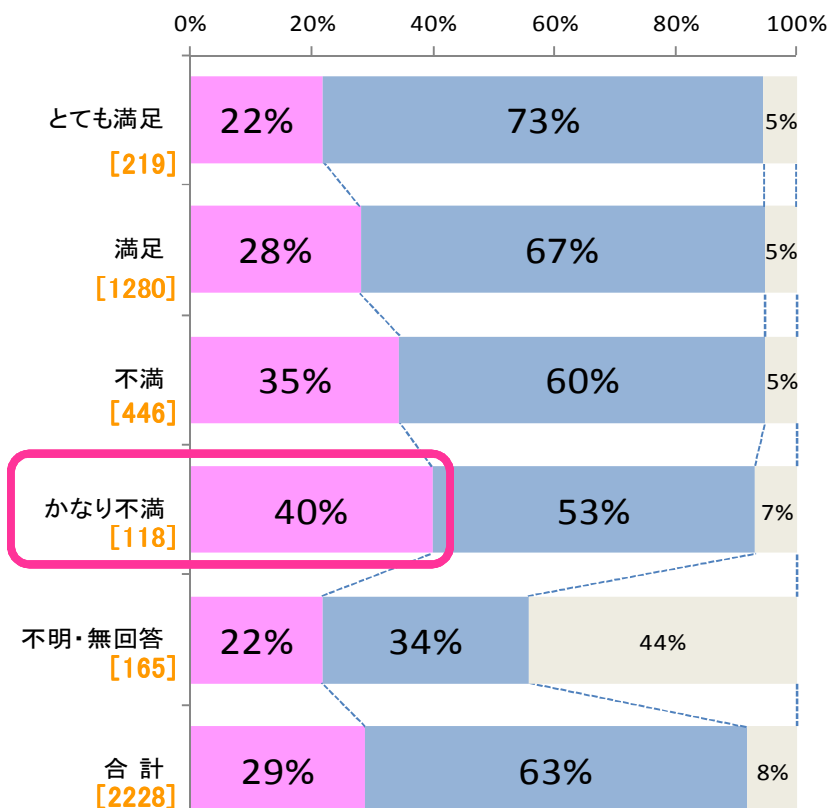
※[]はAL利用頻度別サンプル数

⑥ バス利用頻度別の比較



※[]はバス利用頻度別サンプル数

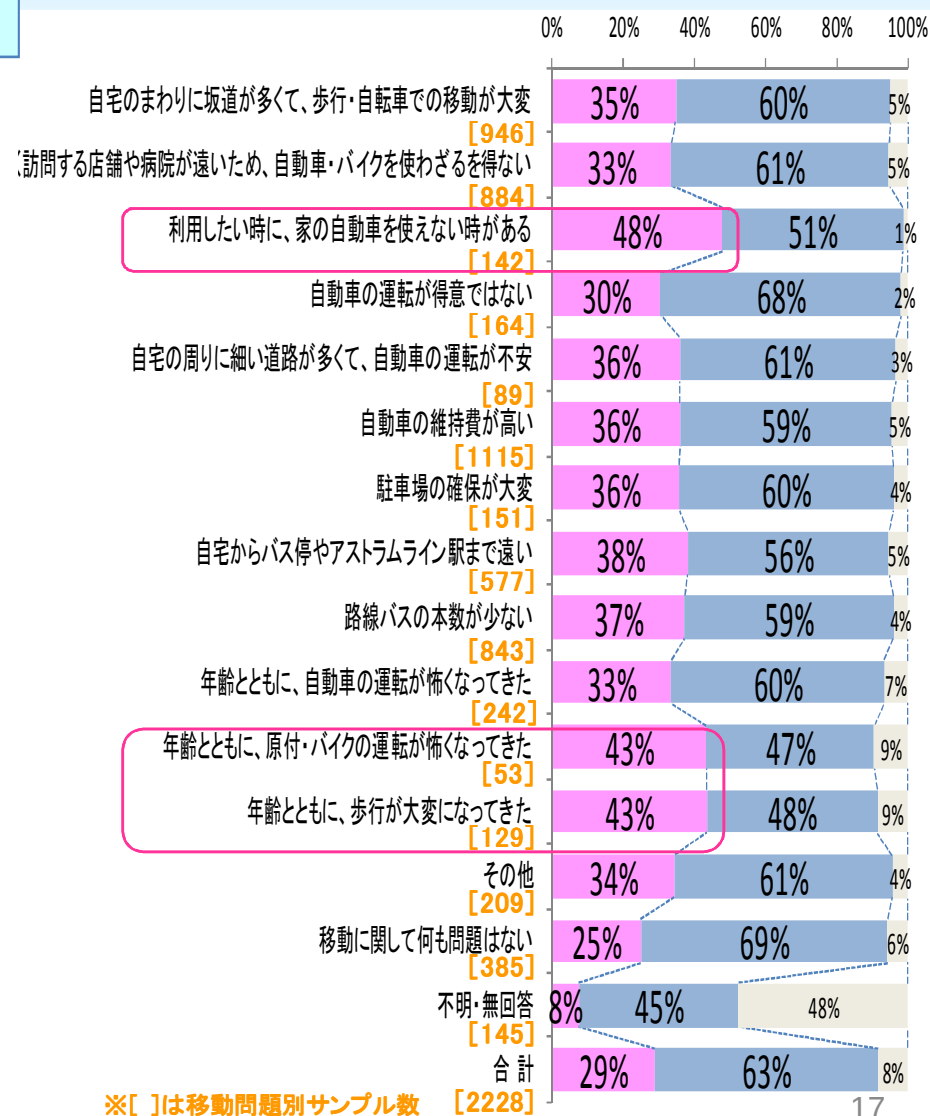
⑦ 移動満足度別の比較



※[]は満足度別サンプル数

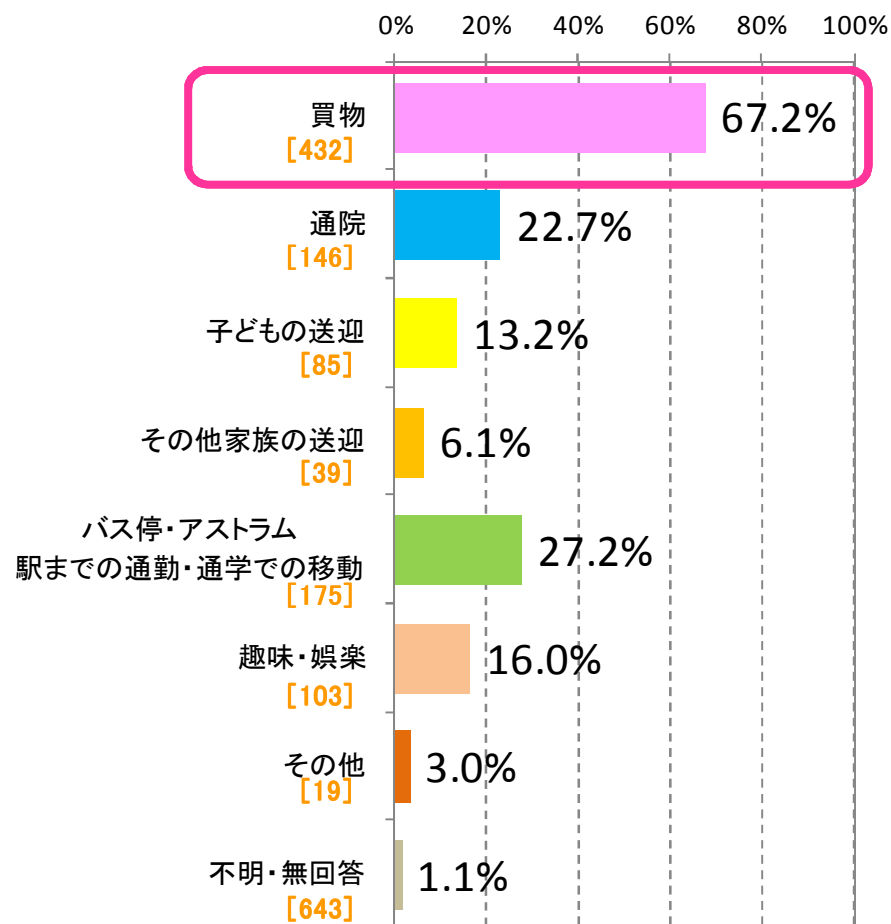
■ 利用すると思う
■ 利用しないと思う
■ 不明・無回答

⑧ 移動問題別の比較



※[]は移動問題別サンプル数

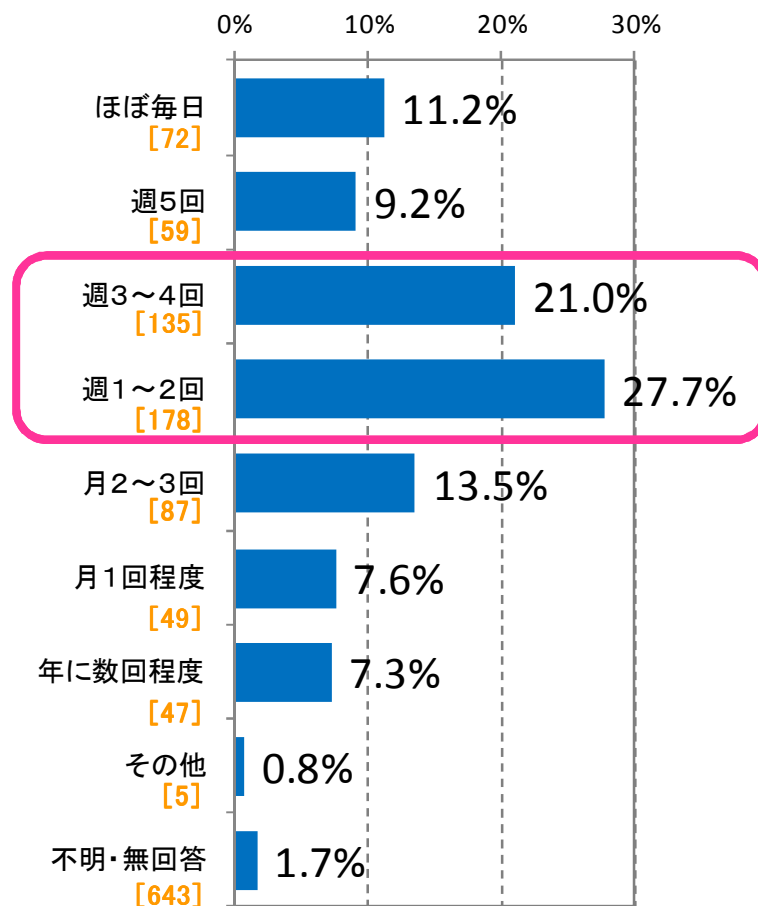
⑨ カーシェアリングの利用目的



※[]は目的別サンプル数

(複数回答)

⑩ カーシェアリングの利用頻度



※[]は頻度別サンプル数

⑪ まとめ

- 利用意向に、性別、年代別ごとの大きな差はなく、万遍なく幅広い年齢層の人の利用が期待できる。
- 自由に使える車がない環境にある人の利用意向が高く、セカンドカー的な需要が見込まれる。
- アストラムラインを毎日利用する人の利用意向が高く、駅までの交通手段としての利用が期待できる。
- カーシェアリングの利用目的としては、買い物が最も多く、日常生活における移動手段としての活用が期待できる。

Ⅱ-3 調査結果の分析

(2) 地域別の需要傾向

① 分析対象地区

新しい団地

古い団地

大字伴(サンプル数169)

- ・ 多様な地域特性を持つエリア。
- ・ アストラムライン、バス路線あり。生活施設も充実。

こころ(サンプル数315)

【分譲開始H11.3～】

- ・ 若い年齢層の住民が多い。
- ・ 団地内にバス路線あり。
- ・ 団地内にS Cあり。

杜の街(サンプル数99)

【分譲開始H8.6～】

- ・ 若い年齢層の住民が多い。
- ・ 西側エリアはバス路線なし。

大字石内(サンプル数39)

- ・ 他に比べて40～60代が多い。
- ・ 地域内にバス路線あり。

若葉台(サンプル数64)

【分譲開始H12.7～】

- ・ 若い年齢層の住民が多い。
- ・ 団地内にバス路線あり。

大原台(サンプル数172)

【S48完成】

- ・ 高い年齢層の住民が多い。
- ・ 団地内にバス路線あり。

大字大塚(サンプル数24)

- ・ 高い年齢層の住民が多い。
- ・ アストラムライン、及びバス路線あり。

五月が丘(サンプル数438)

【Ⅰ期:S51完成】

【Ⅱ期:S59完成】

- ・ 高い年齢層の住民が多い。
- ・ 団地内にバス路線あり。
- ・ 団地内にスーパーあり。

